なかよし・けんこう・どりょく

令和7年5月30日

# 天見小校長室だより　6月号

天見小学校

**人の温かみが感じられる学校　みんなで笑顔と元気を作り出せる学校**

風がそよそよと気持ちよく感じられるさわやかな季節があっという間に過ぎ、梅雨を迎える６月に入りました。日が過ぎるのがとても早く感じてしまいます。

新学年も早２か月がたち、皆、元気に天見小学校に通ってくれているのが何よりもうれしい話です。５月は様々な行事がたくさんあり、子どもたちには楽しい毎日であったと思いますが、歩く距離もなかなかではなかったかと思います。

先日、縦割り野菜で、自分たちの植えたい野菜をみんなで植えました。きれいに整備してもらった畑に、思い思いに、きゅうり、ピーマン、ナス、オクラなどの野菜を植えました。野菜の葉っぱを見てすぐに「これは〇〇の苗」と答えられる天見の子どもたち、さすがだなと思います。

今月号は、５月のいろんな行事ごとを紹介したいと思います。

## てくてくテーリング

今年度は万博に行く日と近かったので、子どもたちの体力を考えて、いつもの「てくてくテーリング」を縮小した形で天見方面を回りました。５月８日（火）は雨の予報が見事に外れ、良く晴れて吹く風は冷たくひんやりとした爽やかな一日でした。

鳥地獄や山水、金気，川原など八幡神社の近くだけを回りました。また、縮小版ということで、天見の歴史についていつもお話しいただいている「話者さん」やそれぞれのポイントに立ってスタンプを押したり交差点での見守りをしてくださっている「PTA の方々」のお手伝いをなしで進めさせていただきました。

ただ、お昼ご飯の防災食を食べる経験は、子どもたちに毎年経験してもらいたく、市からいただいた期限切れ直前のα米と炊き出しのお味噌汁を、学校運営協議会の方と地域の民生児童委員の方に、作っていただきました。これは、万が一の防災時のシュミレーションを地域の方と共有したいという思いもあります。今回のお味噌汁には、大根、キャベツ、玉ねぎ、えのきだけ、ニンジン、ネギとたくさんの野菜を入れて、具沢山のお味噌汁になりました。そのお野菜は PTA の役員４役の方が前の日に 1～2 時間かけて切ってくださいました。また、たくさんの PTA の方が「てくてくテーリング」のお手伝いのためにその日に仕事が当らないように調整を早くからしてくださっていたことをお伺いしました。とてもありがたく思いました。来年度は、てくてくテーリングをいつも通りの形に戻し、再度、天見方面を回る予定にしています。ぜひその時にはお手伝いをお願いできればと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

子どもたちには、あらかじめ全校児童朝会で、α米についてなぜこのご飯を食べるのかを担当教員からお話しました。地域で立ち寄った歴史ポイントの説明については、天見小学校の卒業生がまとめてくれたメモを頼りに、６年生が下の学年に教えてくれていました。こうして卒業生が説明を覚えているのも６年間の継続して地域の方に教えてもらったこの歴史学習のおかげだと思います。第２の故郷としての天見をよく勉強し、天見に残る価値ある遺跡について、人に伝えられるまでのことを覚えているということが素晴らしいと思いました。

## 55 年ぶりに開催された「万博」へ GO!

天見小学校は人数が少ないことや駅から近いところに学校があるので、遠足にはいつも電車を使います。今回の万博には、おそらく最初で最後の、観光バスでの遠足になるのではと思います。観光バスは市が用意してくれました。バスに乗るだけでなんだかテンションが上がります。

向こうでは入れるパビリオンの関係で、低学年と高学年に分かれて行動しました。

「PASONA」パビリオンの方のご厚意で、低学年も高学年もパビリオン見学できることになり大変感謝しています。「PASONA」では、アトムとブラックジャックがパビリオンの誘導をしてくれました。IPS シートや IPS で作った小さな心臓などを見学できたほか、アニメで、戦争で傷ついたアトムの身体を治すブラックジャックの話を見たりと大迫力の映像に子どもたちは釘付けでした。未来のベッドの展示もあり、ぐっすり眠れるのなら、私はそれに寝転んでみたいと思いました。

私は低学年と一緒に回りました。向こうでは遠足に来ている子どもたちも多いし、大人の見学者も多いので、列にはぐれて迷子が出ないかとても心配しましたが、だれ一人はぐれることもなく回ることができました。低学年では３年生が１年生や２年生の手をつないで連れて歩いてくれました。おそらく１年生だけで歩いていたら、もっと時間がかかってしまったことでしょう。３年生がリードしてくれたので、列に差ができることなく、無事にみんなで帰ってこられたと思います。３年生のお兄さん、お姉さんぶりが感じられ、３年生ながら責任感ある行動に感動し、下級生をしっかりと連れて歩いてくれたことに「ありがとう」の感謝を伝えたい気持ちでいっぱいになりました。

「PASONA」を見学した後、吉本劇場に行ってみました。大きなスクリーンにみんなを映し出だしてくれると大喜びでした。ちょうど「昔遊び大会」が始まるところだったので、けん玉やお手玉やあやとりやマジックなどにもたくさんの子どもたちが参加し、舞台の上で披露していました。うまかろうがあまりできなかろうが、物おじせず舞台の上に上がって挑戦している姿がとてもよかったです。そのあと大屋根リングに上がって全体を見て回ったり、「コモンズ館」に入りいろんな国のいろんな景色や特産品を見学して、帰途につきました。帰りのバスは、みんなしーーんとなるくらいぐっすりと眠っていました。その日の歩数は 12,000 歩ぐらいでした。

50 年後の未来に、また万博が日本に来たとしたら、50 年前に遠足で万博に言ったなあということを覚えてくれていたらいいなと思います。

追伸：「PASONA」へお礼状を届けるとめちゃくちゃ喜んでくださいました。

## 「泥んこ遊び」ってやっぱり天見らしい　いい行事！

毎年、坂元さんの田んぼをお借りして、泥んこ遊びをさせていただいています。こんなに泥まみれになって遊べる子どもたちは河内長野中、探しても天見小学校の子どもたちしかできない遊びだと思います。顔に泥が跳ねていてもへっちゃらで、全身泥パックをしながら、走り回っていました。カエルの卵も捕まえました。触感を大切にした、とびっきりの生活科の時間になったことと思います。坂元さん、毎年泥んこ遊びの機会を与えてくださり、ありがとうございます。お手伝いいただいたおうちの方々もありがとうございました。

いつも一緒にやっている花の植え替えもまだ時期が速くてこの日にできなかったのですが、苗を緑化センターからいただけたら行いたいと思っています。また、地域の方のお力をお借りして、学校がお花いっぱいになりますように、子どもたちと一緒に、学校を花いっぱいの素敵な環境にしたいと思います。